

第2期まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略（案）の概要

1 戦略の位置付け

・第1期総合戦略に引き続き、「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」のうち、人口減少対策に係る施策について、数値目標や方向性等を記載した「実施計画（アクションプラン）」として位置付ける。

2 第1期総合戦略の成果と課題

【基本目標及び重要業績評価指標（KPI）の状況】

政策分野	達成済み	未達成
1 強みをとことん、魅力あふれるしごとづくり	9	3
2 人財きらめく、住んでよしの青森県	5	5
3 地域でかなえる、子ども・未来の希望	2	1
4 課題をチャンスに、めざせ健康長寿県	2	6
合計	18	15

・政策分野1は達成済みの指標が多くなっているが、政策分野2の若者の県内定着・還流や政策分野4の県民の健康づくりは未達成の指標が多く、今後の大きな課題となっている。

・政策分野3についても、引き続き、結婚・出産・子育てしやすい環境づくりに向けた取組を強化していく必要がある。

3 対象期間

2020年度から2024年度までの5年間とする。

4 構成

・一人でも多くの若者の県内定着・還流、出生数の増加、死亡者数の減少に向けて、社会減対策及び自然減対策を推進するとともに、人口構造変化に対応し、人口減少を克服していくため、3つの政策分野を設定する。

政策分野1 ～「経済を回す」～魅力あるしごとづくり

政策分野2 出産・子育て支援と健康づくり

政策分野3 若者の県内定着・還流と持続可能な地域づくり

・政策分野ごとに基本目標を、政策分野を構成する政策ごとに重要業績評価指標（KPI）を設定する。（目標年次：2024年度）

〈参考 基本目標10（9）KPI28（24）※（）は第一期の数〉

5 第2期総合戦略の推進の視点

・あらゆる主体と人口減少の克服に向けた取組の成果と課題等を共有し、県民一丸となって取り組んでいくための情報発信や様々な取組での連携促進を図るほか、民間の活力やアイデアも積極的に活用する。

・また、Society5.0の推進による地域課題の解決やSDGsの理念に沿った持続可能なまちづくりなど、新しい時代の流れを見据えた横断的な視点などを踏まえながら取組を進めていく。

6 国・市町村の連携

・国の総合戦略に基づく各種施策と連携を図りながら取組を推進する。

・課題解決に向けた市町村との認識の共有、連携の強化を図るほか、「定住自立圏」などの広域連携の仕組みを活用した市町村の取組を積極的に支援する。

7 マネジメントサイクルの展開

・基本計画のマネジメントサイクルと一体的に展開する。

政策分野1 ～「経済を回す」～魅力あるしごとづくり

- 製造品出荷額等：現状より増加 (←1兆9,121億円)
- 農家1戸当たりの農業産出額：現状より増加 (←1,053万円)
- 青森県産農林水産品輸出額：290億円 (←224億円)
- 観光消費額：2,000億円 (←1,902億円)

1 アグリ分野の持続的成長

- (1) 消費動向の変化を見据えた販売戦略の展開 (「A!Premium」の活用などによる更なる販路開拓など)
- (2) 経済成長が著しいアジアなどへの青森県産品の輸出促進 (輸出先のニーズに応じた県産品の商品力の向上など)
- (3) 安全・安心で優れた青森県産品づくり (生産技術の開発と技術の活用・普及による生産体制の強化など)
- (4) 連携・協働・交流による活力ある農山漁村づくり (「地域経営」の取組拡大とレベルアップなど)
- (5) 農林水産業の成長と共生社会を支える人財育成 (農山漁村地域のマネジメントを担う人財の育成など)

・りんごの輸出量：4万トン (←33,194トン) ・6次産業化による商品化数(累計)：1,100件 (←653件) ・新規就農者数：300人/年 (←256人/年)

2 世界から選ばれる「あおもりツーリズム」の推進

- (1) 観光産業の基幹産業化 (観光事業者・地域づくり団体・市町村等の関係機関や多様な人財の連携による観光地域づくりなど)
- (2) 魅力あるコンテンツづくりと戦略的な情報発信 (地域資源を生かしたコンテンツづくり、テーマ別観光等の推進など)
- (3) 誘客促進のための受入環境の整備 (観光施設の多言語対応やキャッシュレス機能の普及拡大、受入環境の充実・改善など)
- (4) 国内誘客の強化・推進 (旅行形態の変化やエリア・年代別の特性を踏まえた誘客の促進、広域周遊観光の推進など)
- (5) 海外からの誘客の強化・推進 (国・地域別ニーズを捉えターゲットを絞った誘客の促進、「立体観光」の推進)

・延べ宿泊者数：550万人泊 (←506万人泊) ・外国人延べ宿泊者数(従業員10名未満の施設含む)：50万人泊 (←349,050人泊)

3 ライフ・グリーン分野の産業創出

- (1) 地域資源を活用したライフ分野に係る新産業の創出・育成 (医工連携の推進による産業の創出など)
- (2) 生活関連サービス産業の創出・拡大 (商店街における買物機能再生、福祉・コミュニティ機能強化に向けた取組促進など)
- (3) 再生可能エネルギー産業と環境関連産業の振興 (県内事業者の参入に向けた産学官金のネットワーク強化など)
- (4) 原子力関連産業の振興(県内企業の原子力関連産業への参入拡大、量子科学分野の人財育成と研究開発など)

・ライフ産業への参加意欲を持つ県内企業数：250社 (←240社)

4 地域産業の振興による多様な「しごと」の創出

- (1) 創業・起業の促進 (創業支援拠点を活用した創業・起業の促進、創業後も含めた継続的なフォローアップなど)
- (2) 地域資源を生かした産業の創出・育成・継承 (産学官金連携の強化やI・O・T等を活用した新産業・新事業の創出など)
- (3) 青森から世界への戦略的グローバルビジネスの展開 (取組企業の裾野拡大、海外ビジネス展開の促進など)
- (4) 戦略的企業誘致の推進 (本県の強みを生かした分野での戦略的な企業誘致活動の推進など)

・コーディネーター等の中小企業への助言件数：5年間で7,500件 (←2,233件) ・県内の創業支援拠点を利用した創業者数：5年間で500人 (←126人)

5 「経済を回す」ための基盤づくり

- (1) 働きやすさや収益性を高める生産性向上対策の強化 (ICT分野における革新技術の活用促進など)
- (2) ICT利活用の促進 (革新技術の活用を支える情報通信基盤の整備促進、ICT利活用人財の確保・育成)
- (3) 交流拡大を支える交通ネットワークづくり (新幹線、飛行機などを活用した交通ネットワークの充実・強化など)

・就業者1人当たり県内総生産(労働生産性)：全国との差を縮小 (←137.3万円) ・新規求人充足率：現在より上昇 (←20.5%)
・青森空港利用者数：130万人 (←121万人)

政策分野2 出産・子育て支援と健康づくり

- 合計特殊出生率：現状より増加 (1.43)
- 平均寿命：全国平均との差を縮小 (←男2.10年、女1.08年)
- 健康寿命：現状より増加 (←男71.64年、女75.14年)

1 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

(1) 結婚・出産への支援や社会で支え合う子育ての推進

(出会いの場の創出、男女の出会いにつながるサポート体制の充実など結婚を社会全体で支援する取組の推進、保育サービスの充実や保育人財の育成・確保、育児と仕事の両立促進、切れ目のない子育て支援の推進、家庭での男女の協働促進など)

(2) 様々な環境にある子どもや家庭への支援の充実

(ひとり親家庭などに対する支援や子どもの貧困対策の推進、児童虐待防止対策の充実)

(3) 親子の健康増進 (不妊・不育に対する支援、妊産婦、新生児、乳幼児の健康づくりなど)

- ・ 婚姻率 (人口千対)：現状より増加 (←3.8)
- ・ 男性の育児休業取得率：6.1% (←2.1%)

2 県民一人ひとりの健康づくりの推進

(1) ヘルスリテラシー (健やか力) の向上による生活習慣の改善

(健康や疾病予防に関する正しい知識の習得と活用力の向上促進、健康的な生活習慣づくりと食育の推進など)

(2) 社会で取り組むこころの健康づくり

(こころの健康に関する正しい知識の普及啓発と相談支援体制の充実、市町村や関係団体と連携した自殺予防対策の推進など)

(3) 科学的根拠に基づくがん対策の推進

(検診受診機会の増加と検診を受けやすい環境の整備、検診の精度管理やデータ活用など科学的根拠に基づく検診の推進など)

(4) がんになっても、適切な治療を受け、安心して暮らせる体制の充実

(がん医療連携体制の充実とがん患者の療養生活の質の向上など)

- ・ 10歳 (小学5年生) 肥満傾向児の割合：10.0% (←13.4%)
- ・ メタボリックシンドロームの該当者及びその予備群の割合：20%以下 (←27.5%)
- ・ 特定健康診査の実施率：62.3% (←45.7%)
- ・ 自殺者数：193人以下 (←259人)
- ・ がんの75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万対) 81.3 (←91.1)

3 安心して医療が受けられる体制の充実

(1) 医師等の医療従事者の育成と県内定着

(県内高等学校からの医学部医学科合格者の増加、医療従事者が資質向上できる環境づくりとキャリア形成の促進など)

(2) 医療連携体制の強化

(医療の適切な選択・受診につなげるための県民への普及啓発、周産期医療体制の充実・強化など)

- ・ 医師臨床研修マッチング数：110名 (←84名)
- ・ 周産期死亡率 (出産千対)：全国平均以下 (←青森県3.5、全国3.7)

4 スポーツを通じた健康づくりと地域活性化

(1) 健康でスポーツに親しむ環境づくりと競技力の向上

(県民が年間を通じてスポーツに取り組める環境づくり、スポーツや適度な運動の推進を通じた県民の健康づくり、スポーツ科学の活用や指導者の育成・活用による県民の競技力向上など)

- ・ 総合型地域スポーツクラブ数及び設立準備組織数：現状より増加 (←42クラブ)

政策分野3 若者の県内定着・還流と持続可能な地域づくり

- 県外からの転入者に占める移住者等の割合：現状より増加 (←44.4%)
- 県内大学等卒業者 (大学、短大、高専、専修学校) の県内就職内定率：現状より増加 (←31.4%)
- 県内高等学校卒業就職者の県内就職率：現状より増加 (←54.4%)

1 若者の県内定着・還流と移住の促進

(1) 若者の県内定着・還流の促進

(本県の魅力ある「暮らし」や「しごと」を知る機会の提供、県内外大学等との連携強化、若年者等の早期離職防止など)

- (2) 移住の促進など多様な人財との交流の推進 (関係人口の受入をコーディネート・支援する機能の充実など)
- (3) 青森を理解し、世界に向かってチャレンジできる人づくり (体験や地域間交流を重視した学習活動の充実など)
- (4) 「生きる・働く・学ぶ」をつなぐキャリア教育の推進 (高等学校における就職支援の充実による県内定着の促進など)

- ・ 中学校職場体験及び高等学校インターンシップ実施率：中学校98.0% 高等学校80.0% (←中学校98.1% 高等学校77.6%)
- ・ 移住に関する相談・情報提供の件数：現状より増加 (←10,158件)

2 あおもりの未来をつくる人財の育成

- (1) 「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」の育成と教育環境の整備 (主体的・対話的で深い学びの推進など)
- (2) 学校・家庭・地域が連携し社会全体で子どもを育む仕組みづくり (地域学校協働活動の促進など)

- ・ 学習に関心・意欲を持つ子供の割合：現状より増加 (←小学生70.9%、中学生66.7%)

3 あおもりの今をつくる人財の育成

- (1) 活力ある持続可能な地域づくりのための人づくり (ふるさとへの自信と誇りを醸成するための情報発信の強化など)
- (2) あらゆる分野における女性の活躍推進 (チャレンジする女性が学ぶ場の創出や多様な人材とのネットワークづくりなど)
- (3) 生涯を通じた学びと社会参加活動の拡大 (学びの機会の充実や学びを生かした活動の場づくりの推進など)
- (4) 労働力確保対策の強化 (働き方の見直しを含めた職場環境や個々の状況に応じた就労環境の整備の推進など)

- ・ 「あおもり働き方改革推進企業」認定数：300社 (←91社)

4 誰もが生き生きと安心して暮らせる環境づくり

- (1) 保健・医療・福祉包括ケアシステムの充実 (多職種連携や市町村等との連携及び機能強化の促進など)
- (2) 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境づくり (高齢者が活躍できる居場所づくりなど)
- (3) 障害者が自立し、安心して暮らせる共生社会づくり (相談体制の充実や福祉サービスの質の向上など)
- (4) 安全で快適な生活環境づくり (地域交通ネットワークの構築・維持、安心して暮らせる住環境づくり推進など)
- (5) 犯罪に強い地域づくりの推進
- (6) 交通安全対策の推進
- (7) 消費生活と「食」の安全・安心確保
- (8) 歴史・文化の継承と活用
- (9) 文化芸術に親しむ環境づくりと人づくり

- ・ 「つどいの場」設置数：1,250か所 (←718か所) ・ 地域移行 (障害者支援施設の入所者数)：2,470人以下 (←2,563人)

5 災害や危機に強い人づくり、地域づくり

- (1) 安全・安心な県土づくり (「防災公共」の推進、道路、河川などにおける防災インフラの整備など)
- (2) 地域防災力の強化や危機管理機能の向上 (自主防災組織の結成・スキルアップなど県民の自助・共助の取組の定着など)

- ・ 自主防災組織活動カバー率：60% (←53.0%)